

全日本私塾教育ネットワーク

## 私塾ネット広報

第58号(平成29年5月号)

すが  
半袖にそよかぜ清し豆の花（直人）

全日本私塾教育ネットワーク

センター事務局 鈴木 正之  
〒140-0014 東京都品川区大井1-54-6 いぶき学院内  
TEL:03-5743-7458 FAX:03-5743-7459  
Mail:center-office@shijuku.net

理事長 仲野十和田  
TEL03-3963-5572  
広報部長 大住 明敬  
TEL048-957-8608

## 理事長コラム



GWはいかがお過ごしましたか？私は、2つのお別れと2つの結婚式、2つの映画を観て、その他の時間はほとんど家にいて、荒れた畑を耕すか本を読んでいました。こんなに動かなかったGWは初めてでしたが、心の動きは最高レベルでした。

2つのお別れは埼玉県の立脇堯先生と碇優先生。お二人とも私塾ネットができたからこそ出会えた方々です。立脇先生は背筋がピンと通っていて、いつもにこにこされていた素敵なおじさまでした。送迎で広い範囲から多くの生徒を集めています、地域の信頼が強い塾です。場所も近いこともあって、関東代表のときはいろいろとアドバイスをいただきましが、いつも笑顔で楽しそうにお話されていた姿が思い浮かびます。その立脇先生（富士進学スクール）の意志を娘さんの櫻井美穂先生が受け継いでいかれるとお聞きしました。よろしくお願ひします。

もう一つのお別れは、群馬の碇優先生。谷村先生が舵をとり、私塾ネットメンバーで「偲ぶ会」を運営できることはとても嬉しかったです。当日は懐かしのムービーが流れたり、碇先生が好きだった甘いお菓子が各テーブルに置かれました。そして、一人ひとりのメッセージから、如何に碇先生が人を大切にしていたか、そしてみんなが碇先生を愛していたかが伝わってきました。

話は変わりますが、先日スタッフ2名を連れて、念願の「私塾の歴史資料館」を訪問させていただきました。

た。1万冊の蔵書と5万枚の写真。私塾に関するただこの数は、目の前にすると圧巻です。佐藤勇治先生の話を聞きながら懐かしい写真や本を思い思いにめくり、その後教室や佐藤先生の仕事部屋を見学させていただきました。一緒にいたスタッフもとても感動していました。塾という仕事の再認識と、この資料館を作られた佐藤先生への敬意からです。前述の立脇先生、碇先生のご活躍の様子もたくさん詰まっていると思います。私たちが命を懸けて行っている「塾」という仕事を、100年後の人たちにまさしく命を懸けて伝えてくれている佐藤勇治先生へ、改めて感謝と尊敬の気持ちを持ちました。まだ訪問されていない方は、是非訪ねてみてください。佐藤先生のガイドが聴けるうちに…（笑）。

2つの結婚式の1つは近藤誠介先生（文化の森スクール）の娘さん（佐由理さん）の挙式が都内で行われました。アットホームで心温まる式で、とてもかわいいお嫁さんでした。最後の花嫁さんからの手紙…、「近藤先生泣くよね」と言っていた鈴木正之先生が隣で号泣していたのが印象的でした（笑）。

2つの映画。娘に連れられ、「帝一の國」「チアダン」という、学園ものを観にいきました。両方とも個人的には感動ものでした。特に「チアダン」は、名もないサークルから全米制覇を果たした高校（福井県）の話を、実際あったことに基づいて作っているので、心に響きました。また、主役の広瀬すずちゃんの可愛さと役者魂も素晴らしいです。  
お時間があれば是非どうぞ…。

## 全日本私塾ネットワーク 2017年第27回代表者会議報告

2017年4月16日（日）、全国研修大会の開始前の午後1時より、アルカディア市ヶ谷の7階白根にてセンターの第27回代表者会議が開かれました。代表者会議はセンター執行役員によって構成され、執行役員は、会長（副会長）、理事長、副理事長、各部局長、及びエリア代表となります。

仲野十和田理事長の挨拶に続き、規約にのっとり、センター事務局長鈴木正之先生の司会・仲野理事長の議長という形で始まりました。11ページにわたる冊子が配られ、各案件の説明・採択がなされました。第一号議案：平成28年度事業報告および平成29年度事業予定。第三号議案：平成29年度事業計画案が鈴木先生より説明があり、承認。

第二号議案：平成28年度決算報告 第四号議案：平成29年度予算の説明が、昨年度よりセンター会計をお願いしているデザインオフィスズキの鈴木学さんから詳しい説明がありました。氏は、ITを駆使して送金手数料を下げたり、ネットで使える銀行を利用し24時間振込みができるようにしたりと、いろいろと工夫されております。毎度の事ながら退会塾・未納塾の確認にぎりぎりまでかかり決算を出すのは大変です。各エリアからの細かい訂正も

ありましたが、加藤実先生・梶原賢治先生の監査報告も通り、無事承認がなされました。第五号議案：規約改正の件で、鈴木先生が新たな改定点をお話しされ承認されました。

最後の第六号議案：その他 のところで、重要な提案が関志郎先生よりなされました。

1、春の総会で、代表者会議を正式に時間を取って開いてほしい。今のように時間切れで十分な議論が出来ないままでは意味がないのではないか。例えば、毎年赤字を出している部分があるなら、その改善についての提案・議論もしないで放置しておくよりでは問題ではないか。

2、会議で時間を取るためにには、以前提案したように（会計・準備が大変なのは分かるが）、この冊子をせめて2日前に出席者にネットで回せば、当日は承認が早く済む。しゃんしゃんの形式的な代表者会議ではなく、その分有意義な議論の場にしなければ、皆さん遠くから来ている甲斐がないのではないか。

まことに貴重なご意見で、新執行部はこれらの点の実現に、さらなる努力が必要となりましょう。

文責：中村直人（神奈川・中村学院）

## 平成29年度 第27回代表者会議報告

事務局長 鈴木正之

日時：平成29年4月16日（日）13:00～13:40

場所：アルカディア市ヶ谷（7階 白根）

代表者20名中、当日出席13名、委任状3名、合計16名出席（過半数を超え成立）

## 議案

第1号議案 平成28年度 事業報告及び平成29年度 事業予定 承認

第2号議案 平成28年度 決算報告 承認

第3号議案 平成29年度 事業計画案 承認

第4号議案 平成29年度 予算案 承認

第5号議案 規約改正の件

①第19条 「代表者会議は、春の総会、秋の定例会及び臨時会の3種とする。」を「代表者会議は、春の総会及び臨時会の2種とする。」に改訂

②第22条 「執行役員は名誉会長・会長・理事長・副理事長・各部部長・エリア代表とする。「執行役員は名誉会長・会長・副会長・理事長・副理事長・各部部長・エリア代表とする。」に改訂

①②とも承認

第6号議案 その他

楠山ゼミナール楠山敬志先生が名誉会員に推挙され承認された

※5/6、3月末で退会された桜学習会安藤進理先生が名誉会員として顧問を継続することを理事長より了承を得た。

## 全日本私塾教育ネットワーク 2017年度事業予定

年	月	日	曜日	主催:管轄	行事名	場所
2017	4	16	日	東北	エリア東北総会	アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）
	4	16	日	関東	エリア関東総会	アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）
	4	16	日	センター	代表者会議	アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）
	4	16	日	センター	全国塾長職員研修大会	アルカディア市ヶ谷（東京都千代田区）
	5	11	木	中国	定例会	ホテル ニューヒロデン（広島県広島市）
	5	25	木	関東	定例会	中央大学駿河台記念館（東京都千代田区）
	5	28	日	四国	エリア四国総会	オーネクラホテル丸亀（香川県丸亀市）
	5	28	日	四国	研修大会	オーネ克拉ホテル丸亀（香川県丸亀市）
	6	18	日	関東	ファミリーパーティ	千葉房総バスターミナル
	7	13	水	中国	定例会	福山開催 ※場所未定
	9			関東	懇親旅行	※詳細未定
	9	14	水	中国	定例会	ホテル ニューヒロデン（広島県広島市）
	10			関東	研修会	※詳細未定
	11			関東	私学情報交換会	※詳細未定
2018	11	12	土	中国	忘年会	※場所未定
	12			関東	忘年会	※詳細未定
2018	1	11	水	中国	定例会	ホテル ニューヒロデン（広島県広島市）
	3	8	水	中国	定例会	ホテル ニューヒロデン（広島県広島市）

2017年度 私ネットセンター役員一覧			
役職	氏名	塾名	所在
会長	谷村 志厚	AIM学習セミナー	千葉県松戸市
副会長	湯口 兼司	湯口塾	香川県三豊市
副会長	鈴木 正之	いぶき学院	東京都品川区
理事長	仲野 十和田	ナカジュク	東京都板橋区
副理事長	関 志郎	関教育学舎	青森県むつ市
副理事長	中村 直人	中村学院	神奈川県川崎市
副理事長	河浜 一也	学習共同体グループ	広島県広島市
事務局長	鈴木 正之	いぶき学院	東京都品川区
事務次長	長江 広紀	英数学院	神奈川県川崎市
事務次長	長原 糸恵	のびのび学習塾	東京都練馬区
会計部長	鈴木 学	デザインオフィスズキ	千葉県柏市
会計次長	木谷 朝子	木谷塾	東京都品川区
会計次長	監物 一男	向学館	埼玉県さいたま市
広報部長	大住 明敬	聖学舎	埼玉県三郷市
広報次長	西本 雅明	パワーゼミ西本塾	広島県福山市
広報次長	小野 昭	小野塾	香川県丸亀市
広報次長	小林 昌宣	小林進学塾	北海道小樽市
広報次長	扇野 明弘	学習塾 TRM 登龍門	青森県青森市
涉外部長	川久保 博史	英数義塾	東京都墨田区
涉外次長	桂馬 辰尚	桂馬ゼミナール	東京都足立区
ネット管理部長	渡辺 浩	人間教育渡辺塾	東京都北区
ネット管理次長	中村 庸彦	中村学院	神奈川県川崎市
研修部長	田中 宏道	LAPIS鎌ヶ谷	千葉県鎌ヶ谷市
研修部次長	柳田 浩靖	日米文化学院	千葉県八千代市
エリア活動推進部長	近藤 誠介	文化の森スクール	徳島県徳島市
エリア活動推進次長	松浦 重雅	教進セミナー	千葉県千葉市
監事	梶原 賢治	朝日学習館	埼玉県川口市
監事	加藤 実	総合教育研究会	東京都荒川区
顧問 広報部	平林 治	青雲塾	東京都足立区

■私塾ネットエリア・代表			
私塾ネット・北海道代表	入江 昌徳	札幌進学教室	北海道札幌市
私塾ネット・東北代表	安藤 水無子	Andy's	青森県八戸市
私塾ネット・関東代表	渡辺 浩	人間教育渡辺塾	東京都北区
私塾ネット・中部代表	松本 紀行	チャレンジ学院	長野県諏訪郡下諏訪町
私塾ネット・中国代表	佐藤 将紀	若竹塾	広島県東福山市
私塾ネット・四国代表	寺嶋 謙次	学習院セミナー	香川県善通寺市
私塾ネット・九州代表	林 芳子	Hayashi塾	宮崎県宮崎市

■私塾ネット・ジュニアの会			
ジュニアの会代表	渡辺 浩	人間教育渡辺塾	東京都北区
ジュニアの会副代表	湯口 哲朗	湯口塾	香川県三豊市
ジュニアの会副代表	柳田 浩靖	日米文化学院	千葉県八千代市



**エリア東北 広報 扇野昭弘  
(学習塾TRM登竜門・青森県)**

**全国塾長職員研修大会に参加して**

テレビでよく見る東京を感じようと、朝6時13分の新幹線に乗り、9時過ぎに東京に到着し、ホテルに荷物を預かり、桜の舞う靖国神社を参拝、武道館を外から見て参りました。

天気が良く、とても楽しく、時間を過ごすことができました。

会場に入ると、久しぶりに会う面々に、懐かしく、気軽に話しかけることまではできませんでしたが、皆さんお変わりなく、元気そうで、入試で疲れ切った心と体を癒し、回復できたのではと思うほどでした。

エリア東北からは、安藤代表はじめ、関先生、福士先生、佐々木先生と私の5名、2年ぶりに会う関先生にも懐かしさを感じたものでした。

さて、記念講演では、中室牧子氏による「教育に科学的根拠を」ですが、最初は、早朝からの出発と入試の疲れからか、睡魔に襲われたものの、「50歳過ぎてからのたばこやめれない、肥満、貯金0」という言葉に、衝撃を受け、直前の高校・大学入試のみならず、その後の生活習慣・財産の形成にも影響を与える、自制心を養う言葉を見出さなければという、新たな課題を見つけることができました。

もちろん、青森に帰って2冊の本を購入したのは言うまでもありません。

早く読んで、まとめて塾生・父母の方々に紹介したいと思っています。

かつて浅草での会議で、思いっきりよだれを流し、眠っていた私に、「青森から牛連れてきました。」と言われた時とは違う、充実した時間を過ごすことができました。

第2部の懇親会では、東京のお姉さま方に親切にして頂き、これまた明日への活力となり、青森へ帰ってからは、元気はつらつと良い仕事ができているのではと自負しております。

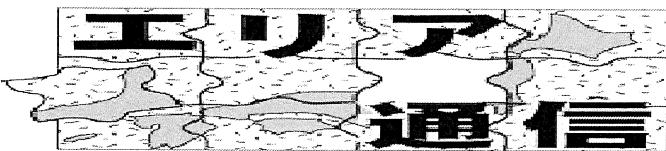
最後に、檀上で話した「長女に会うために東京に来た。」と話しましたが、少しですが、顔を見ながら、話すことができ、彼女ながら、精一杯生きていること、言葉にはしていませんでしたが、父親である私の体のことを気遣ってくれていることがよくわかりました。



東京へ来て、本当に良かったと心から思いました。

また来たいと思いました、準備・運営をして頂いた方々に心から感謝いたします。  
ありがとうございました。

研修会会場で東北メンバー勢ぞろい  
前列左から扇野、佐々木  
後列左から安藤、福士、  
関先生



**エリア関東 代表 渡辺 浩  
(渡辺塾・東京都)**

この度仲野前関東代表の後を受けて新しく私塾ネット関東代表を拝命いたしました東京北区の渡辺塾の渡辺浩でございます。思い返せば十数年前、私塾ネット関東の活動に何も携わっていなかった私に突然「私塾ネット関東事務局（当時はまだ事務局といつてました）をやれ」と谷村・仲野ホットラインというある意味NOといえない命令が下りました。

そこから十数年、私塾ネット総務部を務めあげ、今年の春関東代表をやらせていただくこととなりました。総務で学んだことを活かし、次の世代の先生方にスムーズに引き継げるよう精進してまいります。何分若輩者ですので至らない点が多くあると思いますが、その時にはご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願ひいたします。

**総務部部長 長江 広紀  
(英数学院・神奈川県)**

**エリア関東総会報告**

4月16日、全国塾長職員研修大会に先立って、エリア関東の第17回通常会員総会がアルカディア市ヶ谷・白根の間にて行われました。

初めに渡辺浩前総務部長から、第1号議案・平成28年度事業報告が行われました。引き続き、平成28年度関東決算報告が木谷朝子会計部長からあり、監査の谷村志厚先生、加藤実先生より承認されました。

第3号議案の役員改選の件では、仲野十和田前代表より渡辺浩先生が推挙され、全会一致で新代表に選ばれました。渡辺代表から、副代表に柳田浩靖先生、会計部長に引き続き木谷朝子先生、総務部長に私長江広紀が指名され、全会一致で承認されました。渡辺先生からは、昨年行った設立15周年大会のようなイベントをエリアで秋に行ない、全国からも集ってもらえるような大会にしたい、そのための準備を行っていきたいとの決意表明がありました。

また第4号議案の平成29年度事業計画、第5号議案の平成29年度関東予算案については、渡辺新代表から5月25日に行う定例会において討議したいとの旨があり、承認されました。

エリア関東は一気に世代交代の印象となり、新しい渡辺浩代表体制となり関東もさらに盛り上がっていく機運が高まっております。まずは、5月25日の定例会、そして6月18日のファミリーパーティーとイベントが続きますので、大成功目指して取り組んで参ります。

## エリア関東 情報交換会開かれる

報告：私学部長 桂馬 辰尚



11月20日、ナカジユク・板橋教室をお借りして、34回目の情報交換会が開催されました。今回で28年目を迎え、もう一度スタート時の原点に立ち返り、私学の先生とお近くで、じっくりとお話を伺える会にしようと企画しました。

三校の先生方のお話を御紹介すると、トップバッターは、瀧野川女子学園の山口龍介常務理事・副校长。先生は創立者のひ孫にあたり、東工大でロボット研究をされ、そのノウハウを学園のIT教育に実践されておられます。今回お誘いしたのは、先生が取り組まれている時代を先取りした教育が、塾を経営する若い先生方に参考になると思ったからです。水の中を泳ぐ蛇のロボットや、戦車のキャタピラと台車を組み合わせた研究が、地震シミュレーターに使われている様子を、スクリーン画像で見せて頂き、始めから度肝を抜かれました。先生の学園のiPadを使った授業の様子は、時代が急テンポで変化していることを目の当たりに教えてくれました。2020年以降、外国人との仕事が普通になり、半数以上の人人が今ない仕事に就いている。先生の近未来を予測したお話は、塾経営にとても勉強になりました。



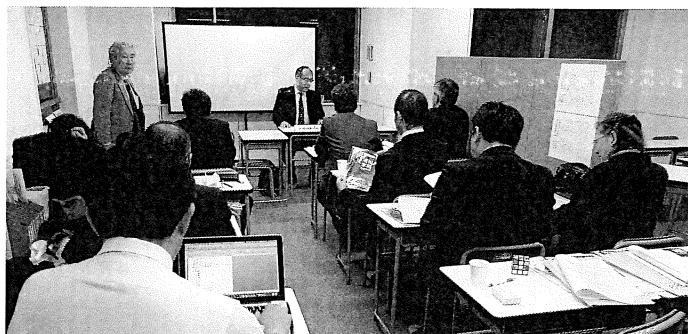
二番手は、浦和学院高校TVプロジェクト推進局長・中熊清次先生、特進推進部長・倉成英昭先生とリレー形式でお話頂きました。中熊先生は、埼玉栄から移動されたばかりで、国際教育・ライフスキル・進学校化の三つを学園トップから要請されたそうです。前任校から移られた際、体調を崩されたそうですが、お灸とリハビリの腹筋で克服。まだまだこれからという、熱意あふれるお話をでした。関西なまりでソフトに話す先生に、同世代としてがんばって下さいとエールを送ります。

ラストは駿台学園理事長・校長の瀬尾兼秀先生。お話を始めに「僕は、父が私学の経営者（前理事長・校長瀬尾秀彰氏）なのに、私学に通わせてもらえないかった。唯一私学で通わせてくれたのは、駿台予備校でした。・・・」その一言に会場が笑いに包まれました。冗談など言いそうもない風貌の先生ですが、どんとぶつかっても「おう」とうけとめてく



れそうな安定感、重厚を感じます。日頃、知られていない私塾ネットの先生方に、先生のお人柄を御紹介したく、御出席をお願いしました。ロッキード事件で有名になった商社に入社された時のお話や、アイルランドでの生活をお話頂き、とてもおもしろく聞かせて頂きました。

懇親会は、板橋教室近くの中華料理店で開かれ、はねつきギョウザのおいしさに感動。冷たい生ビールもそのおいしさを盛り上げました。少人数の会でしたが、今までにない「勉強したなあ。」という気持ちで、会を終わりました。



エリア中国 増井佐世子  
(学習サークルTerra・広島県)

### 入会のご挨拶

この度、全日本私塾ネットワークに入会させて戴きました。まずもって入会をお認め戴き、厚く御礼申し上げます。

本会会員皆様の御高名と輝かしい実績、更には本会における活発で真摯なる取り組みを拝見し、若輩者ではございますが、是非とも本会会員として精一杯努力して参りたいと思っております。

加速する少子高齢化の現状は、否応なく学校教育の財務環境整理を要求し、明治開国以来先人が嘗々努力して築き上げた、国家による公共教育機関設置プロジェクトの崇高理念を、根底から踏みにじる結果となりました。この現状において、地域に密着した私塾教育活動の充実は、目下の急務であると思っております。私塾なればこそ、柔軟で自由な発想、機動性と行動力、小規模対応のメリット等々、そのニーズは今後ますます高まっていくと思います。しかしながら、同時に柔軟性は秩序に反し、自由は公共性を無視し、行動力は無鉄砲な独り善がりとなりかねません。私にとりまして本会は、まさしく荒海に漂う小舟に進むべき方向を示してくれる灯台の灯りでございます。本会を通じて、会員皆様に教えを乞い、様々な情報を共有し学習させて戴き、自分自身の見識と人間性の充実に努めてまいりたいと思います。ご教導、ご鞭撻の程、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

**エリア四国**      **近藤 誠介**  
**(文化の森スクール・徳島県)**

本年度のセンター試験の全国平均は570.0点（5教科7科目900点満点。予備校のセンターリサーチより）です。トップは東京で、657.1点。香川567.3点（全国13位）、高知556.0点（同21位）、愛媛529.7点（同36位）。徳島は518.3点（同44位）。トップの東京との差は、140点。東京の平均点であると、岡山大学に合格しますが、徳島の平均点では受かる国立大学は・・・。ちなみに、46位は宮崎、47位は岩手です。

さて、国立難関9大学合格者数各県別トップ校ランキングに目を転ずると、徳島のトップ校、城東高校は合格者数19名で、全国最下位の有様です。センター平均点下位の宮崎には宮崎大宮（57名）、岩手には盛岡第一（67名）と、昔からの名門校があります。徳島は、40年前の高校入試総合選抜制への制度変更により伝統校の系譜が絶たれ、総選廃止後も、取り立てた政策が行われず今に至っており、難関大学進学という点においては非常に厳しい環境といえます。高校入試も、徳島市内普通科高校の入試倍率は全て、1.00という状態です。

一流大学へ進むことが人生の幸福につながるなどという、安っぽい学歴主義の価値観は持ち合わせてはいませんが、生まれたところで進路の選択が狭まるということがあつてはなりません。本来、こういうことのないようにするのが教育の使命だと思われます。徳島の行政も含め、教育界にはこの使命感が稀薄のようです。これからの方々のため、まだもう少し、しなければならぬことがあるのでしょうか。

**平成29年国公立難関9大学合格者数ランキング**

	高校名(所在地)	合格者数	昨年比	東大京大
1	開成(東京)	200	△	170
2	札幌南(北海道)	192	↗	33
3	修猷館(福岡)	189	↗	36
4	北野(大阪)	162	↗	69
5	灘(兵庫)	153	△	134
6	岡崎(愛知)	143	↗	43
7	洛南(京都)	143	↗	89
8	膳所(滋賀)	142	↗	69
9	渋谷教育学園幕張(千葉)	136	△	89
10	浦和・県立(埼玉)	136	↗	48
11	岐阜(岐阜)	122	↗	39
12	仙台第二(宮城)	121	△	9
13	東大寺学園(奈良)	116	↗	92
14	熊本(熊本)	114	△	33
15	聖光学院(神奈川)	109	△	76

	高校名(所在地)	合格者数	昨年比	東大京大
16	四日市(三重)	109	↗	29
17	金沢泉丘(石川)	108	↗	39
18	浜松北(静岡)	102	↗	35
19	土浦第一(茨城)	83	↗	26
20	ラ・サール(鹿児島)	82	△	45
21	大分上野丘(大分)	81	△	16
22	広島大附福山(広島)	68	↗	33
23	盛岡第一(岩手)	67	△	10
24	富山中部(富山)	65	↗	19
25	愛光(愛媛)	64	△	31
26	岡山朝日(岡山)	63	↗	32
27	宇都宮(栃木)	62	△	16
28	高崎(群馬)	62	△	10
29	長崎西(長崎)	62	△	10
30	山形東(山形)	61	△	10
31	高松(香川)	60	↗	26
32	新潟(新潟)	59	△	10
33	佐賀西(佐賀)	59	↗	9
34	秋田(秋田)	57	△	7
35	宮崎大宮(宮崎)	57	↗	4
36	藤島(福井)	56	△	27
37	八戸(青森)	55	↗	8
38	長野・県立(長野)	54	△	22
39	智辯学園和歌山(和歌山)	51	↗	17
40	山口(山口)	51	↗	15
41	福島・県立(福島)	48	△	7
42	土佐(高知)	40	↗	9
43	昭和薬科大附(沖縄)	33	↗	8
44	松江北(島根)	25	↗	2
45	鳥取西(鳥取)	21	△	4
46	甲府南(山梨)	21	↗	7
47	城東(徳島)	18	△	8





# 第15回全国塾長・職員研修大会

平成29年(2017)4月16日(日) アルカディア市ヶ谷(私学会館)

中室牧子先生の

## 『「学力」の経済学』

～ 教育経済学。エビデンス。塾への提言。～

学歴では年収は変わらない。子どもにゲームはさせてもOK。

報告：富井 雅之

(中村学院専任講師・神奈川県)

4月16日全国研修大会において、中室牧子先生の講演が行われました。テーマは『教育に科学的根拠を』ということで、ご自身の著書でもある『「学力」の経済学』からお話をいただきました。

全国研修大会ということで遠方からいらっしゃった先生方を含め、大いに盛り上がった大会となったと思います。

田中先生の司会進行により始まり、最初に理事長である仲野先生からのご挨拶があり、碇先生を偲ぶお言葉をいただきました。そして、各エリア代表の先生からのお一言からの恒例のアイスブレークの時間に突入。皆さん熱いお話を展開されていらっしゃって有意義な時間を過ごせたのではないでしょうか。



休憩を挟み、いよいよ中室先生の講演が始まりました。本来ならば90分でお話をいただく内容のところを60分でお話をいただいたので、かなり無理難題をお願いしてしまったみたいですが、見事に時間内で納めていただきました。

講演のなかで中室先生は、「自分の経験」による支配ではなく、科学的根拠に基づく解析が重要だとお話をされました。そして、経済学の観点から、その教育には効果があるのだろうか、また、ではそれをどのように投資するのか、ということに着目していました。

実際に、アメリカの法律に「落ちこぼれ防止法」というものがあり、それには教育に科学的根拠を導入することが求められていて、エビデンス(根拠)に基づいた方法が必要とのこと。

具体的には

①数字で計測すること

②因果関係を明らかにすること

③階層がある

例えば、読書をすれば学力が上がるのではなく、もともと学力の高い子がただ読書が好きだったということも考えられます。そのような場合に、ランダム化比較試験という社会実験を行って様子を見る。利点としては、因果関係を特定することができる、コストパフォーマンスがよい、評価が簡単などがあるとおっしゃっていました。

そして、中室先生が大きく取り上げられていた項目に、

『就学前教育』

『教員の質』

の2点が非常に重要な要素が含まれているとおっしゃっていました。

まず、『就学前教育』については、非認知能力(21世紀型スキル)の大切さについておっしゃっていました。自己認識、意欲、忍耐力、自制心、社会的適合、創造性などです。3~8才まではIQにも効果があり、幼少時のしつけが大事だそうです。特に自制心(self controlする力)が大きなウェイトを占めているらしく、アメリカではマシュマロをおあずけした状態で我慢できるかどうかを試す実験が行われているようです。日本においては、夏休みの宿題を最終日まで残してしまう子などは自制心が低いと認識されるようです。

次に、『教員の質』です。質の良い教員とは、常に80点を採らせる教員ではなく、伸び率を高めてあげることができる教員の方が付加価値があるのだそうです。

今回の研修大会での中室先生のお話から闇雲に勉強するのではなく、科学的根拠に基づいた勉強法が成果を生み出し効果的であることがわかりま



した。中室先生の新書で『「原因」と「結果」の経済学』がありますが、そこでも因果関係の重要さが記されているのではないでしょうか。



休憩を挟み、中室先生のお話を受けて小宮山先生からのご提言がありました。中室先生の後にお話されると多少の戸惑いを感じられながらも貴重なお話をしていただきました。ありがとうございました。

第一部の締めとして谷村先生から、「ふりかえりと感謝」のお言葉をいただき、好評のうちに全国研修大会が終了となりました。続いて第二部の懇親会へと続いていきました。

第二部の懇親会は村社先生と長江先生の司会による軽快な流れから始まり、しばしの歓談からご来賓祝辞となり、渡辺先生と柳田先生の進行によるクイズも大好評のうちに終了し、楽しい時間はあつという間に過ぎていきました。



映像で故碇優先生を偲ぶ



↑ 實吉幹夫東京都私立中高協会副会長の本音スピーチに聞き入る



エリア東北の皆さんも一同に会して



千葉学習塾組合の新旧コンビ 谷村と西出理事長



香川から湯口副会長と広島から佐藤代表



エリア四国3巨頭、右から湯口、寺嶋、近藤先生

## 全国研修大会アンケートレポート

<Q1. 所属はどちらですか?>

- |                |             |
|----------------|-------------|
| ア)私立学校(0人)     | イ)塾関連企業(5人) |
| ウ)私塾ネット会員(13人) | エ)その他(10人)  |

<Q2. 各コーナーや講演はいかがでしたか?>

Q2-1) 中室牧子先生のご講演

- ・とても興味深いお話でした。早口でも全くつらくない位、夢中になってしまいました。
- ・もともと「学力の経済学」を読んで興味を持っていたことでしたので、本1冊分の要約という感じで、もう一度おさらいできました。
- ・学力の経済学の学び直しとなりました。実際に自分の子の教育にも活かしていくうと思います。自身としても、社会貢献の一環として、登壇してもらおうとも思いました。
- ・経験による話ではなく、科学的根拠に基づいての発想。自塾の生徒だけではなく、子育てにも生かしていきたい。
- ・エビデンス。認知能力。非認知能力。
- ・とても良かったです。
- ・本当にその通りでした!!! 分かっていてもどうしても目先の成績、成果さえ出れば、その能力なしで達成しても問題ないシステムになっている→プロセス評価が効果的ではないか。塾だと、いかに自宅学習をサポートできるか。明確な基準が非認知能力にはない。

次ページに続く

- ・体験に基づく行動が多い自分にとって、統計も行動の基にした方がよいということが分かりました。
- ・因果関係を統計的手法で探る手法は興味深い。しかし、仮説をもっての統計分析であるから、予断がないかどうかは危惧される。お話は参考とすべき段階です。
- ・非認知能力(自制心、やり抜く力)の大切さと教員の質の大切さを感じた。
- ・改めてパワーを頂きました。塾が、私個人がやるべき役割を明示いただいた気がします。
- ・受験や日々の学習で、すぐにつなげられるような「非認知能力」の話がとても興味深い話でした。子どもたちについてだけでなく、自分にも当てはまり「ギクッ」とする部分もあり、とても勉強になりました。
- ・「個人の経験」よりも「エビデンス」が大切であり、一般化して教育の経済効果を測る必要性もよく理解できましたが、「自制心」や「やり抜く力」を自塾にどう落とし込むかについて考える必要があると感じました。
- ・大変勉強になりました。教育事業を行っていく企業として、現場の先生以上に突き詰めていかなければならないと感じた。そうすることによって、現場に寄り添えると感じている。
- ・「学力の経済学」というにふさわしい、学力の根拠が良く理解できた気がします。非認知能力については、分かっていたつもりがありませんが、理解できました。毎回ネットの研修会は刺激的で参考になります。これを活かしたいと思います。
- ・先生のご講演を拝聴していて、スライドで飛ばされてしまっていた部分も多かったように感じられたので、ご講演の時間がもう少し長くても良かったのかなと感じました。レジュメ等があつたりしたら、より良かったかとも思います。
- ・教育≠経験、個人≠全体、例外は例外(例:ビリギャル)。ボルトのマネをしてもボルトにはなれない(偽者)。科学的根拠に欠けている→教育に科学を。因果関係↔相関関係。自制心、非認知能力。鋭い観点と明解な解説すばらしい。
- ・統計学のおもしろさを知りました!まずは本を買おうと思います。gritを自分自身でどう高められるのか調べてみようと思います。
- ・教員の質について課題が残される。幼児において、何を教育投資すべきか、さらに悩む。
- ・データを分析することを学んだ。しかし一点で論じることは危険であるため、多角的な分析することも重要である。
- ・大変興味深く、来た甲斐がありました。あれだけの速度で筋が明解であることにも感服しました。
- ・研究者として大変すぐれた魅力あるお方だと思いました。各フェーズの興味深い内容を(本当は90分だったのに)60分にまとめていただいて、ぜひ著書で復習したいと思いました。アメリカの『社会実験』で非認知能力、グリッドスコアの重要性(エビデンスというレベルで)が分かってきたという報告も興味深いと思いました。
- ・非認知能力をどう高めていくかを考えながら、今後の指導をしていきたいと思います。とても有意義なお話、ありがとうございました。
- ・新しい視点で教育学を見ているので参考になりました。保護者会で使えそうです。
- ・テストでは測れない“非認知能力”についての話は、励みになりました。質の高い教育を受けたから、自制心やgrid(やり抜く力)がつくのではなく、鍛えれば伸ばせられるということは、まず自分が今行っている趣味にも活用できると思いました。生徒や職員にも伝えたいです。

## Q2-2)小宮山博仁先生のコメント

- ・塾の側に立っての、受け止めるべき点をアドバイスいただいたと思います。
- ・アクティブラーニング、がんばってください。
- ・とても良かったです。
- ・非認知能力をもった教育者をどう育てるか。それをできている人がいるのか→非認知能力は、もはや日々の生き方ではないか。日々先生同士で確認し合う。非認知能力を高め続けなくてはいけない理由、その教育者の理想を明確にすることから。

- ・質問する→学び、アクティブラーニング。これを、ふわりと体験できて良かったです。
- ・統計的因果関係は、大体の傾向を示しているに過ぎないという話は理解できます。
- ・経済学の観点ではなく、人間心理学の観点からも見ていく必要を感じた。
- ・EQ、見える学力、見えない学力等、点と点をつないでいただき、ありがとうございます。
- ・「エビデンス」がとても重要なアクリーであるということを、より一層実感できるとともに、参考にしていきたいと思う。また、「教育の質」を考えなければならないと思いました。
- ・全体のまとめになった。
- ・教育社会学や教育心理学の方のお話にも、大変興味をひかれました。他分野のお話が聞けたことで、比較ができたので大変勉強になりました。
- ・中室先生がご専門のテーマを局面を絞って話されていて興味深かったのに対し、俯瞰的に過去(『EQ、見えない学力』)の時代にも触れ、大きな流れの中で話されていたのが共感できた部分です。大変勉強になりました。
- ・良い先生を作るために←技量と信頼される講師になれ。

## Q2-3)アイスブレークと「深める。ご講演を聴いて」

- ・このようなスタイルの運営が非常に参考になりました。
- ・科学的根拠と体験談の共存が大事。
- ・自分を見直す時間が必要だと思います。
- ・個人的に『アイスブレーク』は苦手なので、そこは「ツライ!」。私塾ネットの研修会には必ずあるので「ウツ!」となってしまう。
- ・他の先生方のお話を聞いて、自分とは異なるバックグラウンドを持っている方の感じたことをお聞きできるというのは、新たな気づきの機会で、とてもありがたかったです。
- ・同じ悩みの先生方が多く、安心しました。
- ・高校の現場の話を聞くことができたので、フリースクールにいかしたい。
- ・2・6・2の割合で、いかに6の生徒を上に2に入れるか?下の2を6に近づけるか、講師の一つの目標に常にいて、授業をすることが大切です。
- ・グループ内で自分で発表すると、自分がうまく伝わっていないことを、他の方からの質問や指摘から気づくことができたので、普段から生徒さんのみならず、多くの人々からの話を聞いたり発言することの大切さを認識できた。

## <Q3. 本日の研修会はいかがでしたか?>

### Q3-1)満足度は?

- |              |            |
|--------------|------------|
| ア)とても満足(16人) | イ)満足(7人)   |
| ウ)ふつう(1人)    | エ)やや不満(0人) |
| オ)不満(0人)     |            |

### Q3-2)よかった点はどこですか?

- ・中室先生のお話。出会い。
- ・全国の先生方と会え、また元気をもらいました。帰ってがんばります。
- ・内容が濃い。様々な視点の意見を学べる。できるための方法を考える空気、できない理由を並べてあきらめる空気じゃないのがすばらしい。
- ・中室先生のお話は、幅広い視野をもつことの大切さを感じた。また小宮山先生のコメントは、塾側の人の反応として納得できるものであった。
- ・内容的に非常に学べる点が多かったことと、そこから私たちに何ができるのかについての議論が様々な場所にいらっしゃる方とできました。
- ・児童教育が如何に大切なのが理解できました。
- ・知り合いを増やすことができました。
- ・グループ内で発表したり質問することは、講演者の話の理解に役立つことができた点。

## 日本民間教育大賞授賞式に出席して 一碇優先生 民間教育功労賞受賞

報告：中村直人（私塾ネットセンター副理事長）

冷たい小雨降る、2017年3月21日(火)に、日本民間教育大賞選定会議・株式会社 塾と教育社主催の、日本民間教育大賞の授賞式・記念講演会・祝賀会が東京・神田 学士会館において開かれました。昨年11月に惜しくも亡くなられた碇優先生が、日本民間教育大賞・民間教育特別功労賞を受賞され、授賞式に奥様の碇優子様が川畠卓也先生と一緒にご出席なされました。

私塾ネットも選定会議に参加していますので、私塾ネットからは仲野十和田理事長、谷村志厚会長、また前年度民間教育大賞最高功労賞を受賞された佐藤勇治先生などが出席されておりました。

会は、木村吉宏氏を総合司会として始まりました。塾と教育社社長の加藤麻由美様のご挨拶があり、次いで記念講演会第一部、北海道の奥山英明氏による「練成会グループの歩みと塾の針路」という演題による講演がありました。

授賞式に先立ちまして、昨年業界に多大な貢献をなされ、お亡くなりになった先生方に黙祷を捧げました。次に、教育大賞選定会議の構成九団体の代表者および顧問の大島九州男先生・渡辺美知太郎先生が登壇し、加藤社長の司会で進行していきました。最高功労



受賞の挨拶をされる碇優子さん

賞の皆倉宣之氏、龍澤正美氏、山本千秋氏が登壇。次いで特別功労賞の碇優先生、小椋俊男氏、中村芳夫氏の三名、こちらは故人ですので奥様・後継者の方などが登壇しました。選定委員を代表して、全国学習塾協同組合の森貞孝先生によるお祝いのお言葉がありました。表彰式では、一人ずつお呼びし功績を読み上げ、賞状と楯が贈られました。「碇先生は、民間教育界における数学教育の発展に寄与するとともに、民間教育団体を通じて後進の育成に寄与した功績により、民間教育特別功労賞を受賞されました。」と読み上げられ、奥様の碇優子様に賞状と楯が手渡されました。その後、大島・渡辺両先生のご祝辞があり、受賞者の方々の謝辞が一言ずつあり、授賞式は終わりました。

### 随想 私塾団体との関わり

英数学院 長江勝秋

昭和42年、家族会議を開いて自宅を3階建てにして、1階は陶芸家の父が陶芸教室、2階は私が学習塾、3階は住居ということにしました。

私は2年間の家庭教師と1ヶ月の塾講師のアルバイトしか経験ありません。塾？ 何をどうしたらよいか分かりません。中学高校時代の友人を集めてチームを作りました。東大大学院生のH・N君、東工大大学院のS・T君、千葉大教育学部のS・N君、千葉大工学部のK・F君他2人。

チラシに講師の経歴等も記しました。チラシは新聞4紙に投入。校門配布、駅前配布、電柱貼り付け等の宣伝活動。その結果、申し込みの電話が鳴り止まず、開講日には小・中・高生合計60名を超えていました。

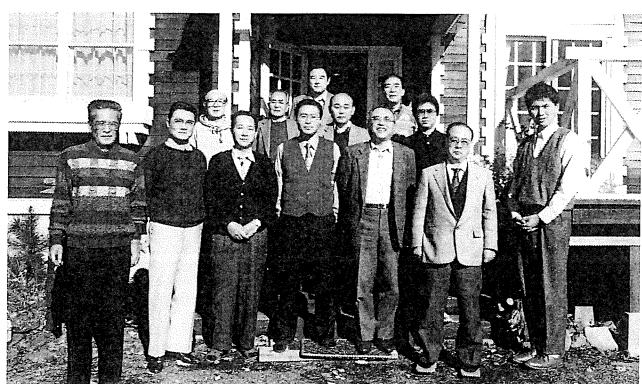
しかし、塾のノウハウ0で始めたので、無理がありました。生徒や保護者とのコミュニケーション、授業のしかた・進め方、イベントのノウハウなど分からぬ事知りたい事を教材会社の営業マンに愚痴っていたところ、「同じようなことを言っている塾長がいるから紹介しましょうか。」ということになり、お願いしました。横浜のK塾に集まつたのは8名。その中に神奈川私塾会のメンバーがいて、入会を勧められ入会しました。

「神奈川私塾会」というのは「全日本私塾協会」

(略称P.T.F.) の一部で、そこには他に東京と九州に支部があり、個人会員もたくさん参加していました。

P.T.F.に入会してからは優秀な先輩方に教えて、塾のほうは盤石な体制となり「宿河原教室」「子母口教室」「新城教室」の3教室で最大40名を超えたときもありました。

しかし、人数が多いと名前と顔が一致しなくなり、まともな教育はできません。現在は2教室を閉鎖して、新城教室を鉄筋コンクリート6階建てにして2F~5Fを塾に使用、理想的な塾教育に一步近づけたと思っております。



昭和61年当時のPTFメンバー(東京私塾会)。懐かしい方々のお顔が並んでいます。前列左端から立脇、平林、安藤、渡辺、宮崎、高木そして右端は大沢(碇塾講師)、中列左端から西川、木下、平船、碇、最後列馬場、清水(敬称略)



## 故碇優先生を偲ぶ会執り行われる

平成28年11月23日に亡くなられた碇優先生（碇塾・群馬県太田市・（公社）全国学習塾協会副会長）を偲ぶ会が、5月7日（日）、市ヶ谷アルカディアで執り行われた。偲ぶ会を実行するにあたって、碇さんと縁のあった方々に発起人をお願いした。その結果14名の方々に発起人として名を連ねていただくことになった。その顔ぶれは以下の方々である。森貞孝・安藤大作・稻葉秀雄・玉城邦夫・鈴木幸広・坂田義勝・松浦重雅・内藤潤司・仲野十和田・鈴木正之・渡邊浩・平林治・川畑卓也・谷村志厚（以上順不同敬称略）。いずれも学習塾協会、協同組合、任意団体の代表者あるいはそれに準じる立場の皆さんである。

そして谷村志厚（私塾ネット会長）を中心に、私塾ネット関東の有志が実行委員として、偲ぶ会の準備と当日の運営を主管した。

偲ぶ会の案内に対し、65名の方々からご賛同をいただき5月7日を迎えた。この日は大型連休の最終日とあって、当日の欠席者が多くなるのではと懸念されたが、当日の欠席者は2名にとどまった。

午後2時、参列者の皆さんからの献花から式は始まり、長い献花の列が会場を廻った。

第一部式典の司会進行は谷村志厚。まずは発起人を代表して森貞孝全国学習塾協同組合理事長が挨拶をされた。碇さんの人となりに触れながら30年に及ぶ学習塾団体活動での功績を讃えられた。

これをうけてご遺族碇優子さんが返礼の挨拶をされた。

3月21日、民間教育大賞特別功労賞が碇優先生に

### 式次第

14:00	入場・献花	
14:15	第一部式典	進行 谷村志厚
14:17	発起人代表挨拶	森 貞孝
14:25	ご遺族挨拶	碇 優子様
14:30	民間教育特別功労賞受賞について	加藤麻由美様
14:35	碇優先生 思い出ムービー	鈴木 学
14:45	第二部懇談	進行 田中宏道 ①碇さんとの思い出を語る 安藤大作様以下、 自己紹介をかねてショートスピーチ
	②碇先生 秘蔵音声披露	鈴木 学
	③感謝の言葉「ありがとう碇先生」	岩瀬善孝
15:45	思い出のムービーDVD 贈呈	仲野十和田
15:47	閉会の挨拶	鈴木正之

授与された。同賞の運営主管企業である「塾と教育社」の加藤麻由美社長が、受賞の経緯とその意義について説明をされた。

第一部の締めは私塾ネット得意の感動ムービーの映写。今回の映像は私塾ネット賛助会員鈴木学さんの手になるもの。30余年前の懐かしい写真から近影まで、簡潔にして感動的に6分間にまとめられた思い出のアルバムに、出席者はそれぞれの碇さんの思い出を重ね合わせた。





第二部懇談会に移り司会進行を田中宏道さんにバトンタッチ。この日はコーヒーとお茶で碇さんとの思い出を語り合う茶話会方式であった。そこで一工夫。大の甘党であった碇さんにちなんで「みなと、港に甘味あり、碇さんが愛した甘ちゃんたち」なる珍企画を思い付いた。広島から「もみじ饅頭」、群馬は「原田のラスク」、横浜は「ハーバー」そして東京は「板橋もなか」。かつて碇さんが舌鼓を打ったお菓子を、お茶受けとして準備したのである。広島の河浜さんはこの企画に賛同していただき、ご贍員のお店「山田屋」のもみじ饅頭を、どかんと60個寄付していただいた。感謝感謝である。



右から安藤社団会長、大島参議院議員、森全国組合理事長

懇談会のスタートは（公社）全国学習塾協会の安藤大作会長のスピーチから。碇さんの晩年は軸足を同協会におき、副会長の要職を務めておられた。会長の補佐役として、息子ほどの年齢である安藤会長を支えて來たのである。

参会者のスピーチは続いた、当初の予定を20分を越えるほど、沢山の方々からさまざまな思い出が語られた。

そして懇談会の後半を盛り上げたのが、碇先生秘蔵音声披露であった。第一部のムービー同様これも鈴木学さんの制作によるもの。鈴木さんは塾の広告チラシデザインを専門とされている。数年 鈴木学さん

前の広告制作打合せ時に語られた碇さんの音声が、鈴木さんの手元に残されていた。ぜひこれを皆さんに聞いてい頂きたいとの申し出があった。

映像を交えた録音の中で碇さんは、あの穏やかな声で、碇塾の理念と塾における数学教育の何たるかを熱く語っていた。

最後に感動を呼んだのは、岩瀬善幸さん感謝の言葉。ナカジュク（仲野十和田塾長）の専任講師である岩瀬さんは、自ら望んで碇塾に出向き、碇さんから数学教育のイロハを学んでいた。足かけ10年におよぶ薰陶のようすを、時には熱く、時にはこみ上げてくる思いを隠すことなく語り、最後を感謝の言葉で結んだ。



岩瀬善孝さん

報告：谷村志厚



会場風景、テーブル上にはお菓子類が盛られている



碇塾の皆さん挨拶。左から須永さん、三田さん、岡田さん、手前に碇優子さんのお顔も

## 私塾ねつと誌上句会 第二十七回

### 八つ橋を越えて紫花しようぶ 山寺の緑さす奥鳥一声

中村直人  
(神奈川県)

八つ橋といえど京都の銘菓を思い浮かべるのは、食いしん坊の性か。池や小川になどに、幅の狭い板をジグザグに架けたものが本来の八つ橋。これを模したものがお菓子の八つ橋。

### 散歩道帰りは素足としやれてみる ポロシャツは娘の父の日プレゼント

長江勝秋  
(神奈川県)

長江さんは車椅子が必要となつて久しいが、素足で大地を踏みしめることはお出來だらうか。裸足に伝わるひんやりとした感触、薄暑のこの時期ならではの体感である。

### いかなごの釣煮芳し港町

木内恭裕  
(徳島県)

いかなごは春が旬の小魚の稚魚、関東ではコウナゴ(小女子)と呼ばれている。釣煮は瀬戸内沿岸の港町の季節の郷土料理。姿形が古釣に似ていることからこの名が。

### 新緑やいまはドントミンアスイング 石段のなかほどきたり春の雨

(愛媛県)

「ドントミンアスイング」?十亀さんに聞いてみた。ジャズの名曲でデューク・エリントンの代表曲とのこと。ジャズを聴きながら、新緑の揺れるさまに感じ入った際の一句とか。十亀さんも多趣味ですね、恐れ入りました。

### 祭壇の中の笑顔や白牡丹 積み上る献花の菊や人の徳

谷村志厚  
(千葉県)

5月7日に開催した故碇優先生を偲ぶ会で作句したもの。

編集部からお願ひ

次号は7月中旬発行の新年号です。

投句はお一人3句まで夏季季語でお願いします。

投稿はメールshikot@aim-net.co.jpまたは

FAX047-368-2189 谷村まで  
締切は7月10日。ふるってご投稿ください。

## 閑話休題

編集長 谷村志厚

仲野さんも鈴木さんも触れられているが、さいたま市岩槻の富士進学スクール立脇堯先生がお亡くなりになつた。立脇さんは32年のおつき合いだった。昨年亡くなつた碇さんと同時期に出合つてゐる。

これは前号でもふれたことだが、最初の出会いには渡辺公雄さん(浩さんの岳父)が関わつてゐる。出版社文理の主催する研修グループ、MAP教育研究会が出会いの場所であった。その座長が渡辺さんであつた。この研究会は、パソコン教材を塾で活用するための研修会であった。当時はまだカセットテープをぐるぐるまわしてソフトを読みこむPC初期の時代。今思えばおもちゃのような代物だが、CAIと称する新時代の教育ツールの活用研究に取り組んでいたのである。思えば進取の精神は豊かではあったが、機は熟さずこれといった成果も残せず沙汰やみとなつた。そして残つたのは渡辺さんを核とする研修グループで、そのメンバーの多くがそのまま渡辺さんの率いるPTFに籍を置くことになるのである。

立脇さんは個性的な一面をお持ちの方であった。一橋大の出とあって頭脳は明晰、論が立ちすぎるくらいがありその舌鋒の鋭さに、議論が思わぬ方向に展開するといったこともしばしばであった。

一橋大といえば、当時全塾連の理事長(初代全国学習塾協会会长)であった落合清晃先生が立脇さんの同窓の先輩にあたらされた。お二人の共通の趣味は社交ダンスだったのだが、地方出張の折にはダンスシューズを持ち込むほどの入れ込みよう。我々が二次会で酔いつぶれてゐる頃、お二人は軽快にステップを踏んでおられた。

意気投合したお二人は、「塾ダン連」なるあやしげなクラブ活動を提唱していた。当時全塾連、PTF、

関私連の3団体が「塾團連」なる研修会を立ち上げていたのだが、これにあやかって「私塾ダンス連盟」略して「塾ダン連」である。なかなか洒落が利いていて、大人のお遊びとして楽しんでおられた。心身ともに余裕のある、いい時代であった。今ごろ黄泉の国でお二人は「靈ダン連」を組まれ、交流をされておられるのではないだろうか。合掌。

2月の57号の当欄で「碇さんのお別れ会を、との要望が届いている。2月の受験期を終えると業界も落ち着く、そろそろお別れ会の準備に動き出そうか」と書いた。名称をお別れ会から偲ぶ会とあらため、5月7日に無事終えることができた。詳細は前頁で掲載の通りだ。偲ぶ会の発起人をお願いしたのは14名の方々だった。いずれも碇さんに縁のある皆さんだが、その顔ぶれは首都圏の塾団体の名だたる方ばかりである。偲ぶ会の趣旨に皆さん喜んで賛同していただき、会の運営を私塾ネット関東の有志にお任せいただいた。その結果60余名の皆さんが献花においてになり、碇さんとのエピソードを語られた。碇さんの交際の広さと皆さんに愛された人となりを再認識することになった。塾人現役のままの惜しまれる別れではあったが、これもまたいかにも彼ららしい最期かと納得するところである。

その後、青森から参加された閑先生からメールが入った。「あれだけ多くの、各方面の参加者を得て、碇先生を偲ぶことができたことは、ただ、ただ感謝しております。私塾ネットが改めて、人と人の結びつきや縁を大切にする会と言つことが、実感できました。」とうれしいメッセージをいただいた。「私塾ネットが人と人の結びつきや縁を大切にする会」との言葉を、ありがたく受けとめ感謝したいと思う。これこそ任意団体としての私塾ネットのあるべき姿であり願いだと思う。

# 私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長 鈴木正之(いぶき学院)



4月16日（日）全国研修大会が終了しました。私は今まで、全国研修大会には、研修部長として3年、関東代表（代行含む）として6年、理事長として4年副会長として4年間携わりましたが、事務局長としての全国研修大会は初めての経験でした。立場が違うと研修会も別のモノに見えてきます。理事長や研修部長の立場に立ち、全ての事に目を配り、会全体を何事もなく進めていくことが役割と考えました。実行委員の先生方、スタッフ全員がそれぞれの役割を果たしてくれたおかげで大きな問題もなく終了できました。1人でも欠けたら会は成立しなかったと思います。運営スタッフ、参加していただいた方々、ご講演やご挨拶をしていただいた方々に対して、素直に「ありがとうございます」と言える会でした。そして、特に準備段階で、田中宏道研修部長、鈴木学会計部長の苦労がわかりました。動員や告知でも実行委員全員の協力と団結がありました。その中で長江広紀先生の活躍は「すげえ」ものでした。皆さんに感謝！

4月22日、立脇堯先生（富士進学スクール）が永眠されました。享年81歳でした。ご冥福をお祈りいたします。立脇先生との出会いは20年ほど前、塾団体で新米の私に色々指導をしてくれました。ありがたいなあと思っていたことは、岩槻の富士進学スクールは地元の1番塾で、そのような素晴らしい

らしい塾の塾長である立脇先生に声を掛けていただき、塾の運営についての相談をしていただいたことです。そしてそこで彼のすばらしさを知ることになります。彼は70歳を超えるても、常に新しいことを模索し続け、自分が今までしていたことを壊しても、チャレンジをし続けていました。自分の目だけではなく、第3者の客観的な目も大切にされ、常に上を目指す気概を持った方でした。時には厳しい先生でしたが、それと同時にすごく優しい目を持つ情のある先生でした。富士進学スクールは娘さんが後を継いで運営されます。立脇先生にいただいた温情をお返しできるように、富士進学スクールを応援していきたいと思います。

## 平成29年度特定サービス産業 実態調査について

理事長 仲野十和田

経済産業省より、6月中旬頃から順次「平成29年度特定サービス産業実態調査」の関係書類が、調査対象事業所・企業に送付されます。この調査は、サービス産業に関する施策の基礎資料を得ることを目的としています。

会員の皆様にはご多忙とは存じますが、対象事業所となった場合、積極的に調査に協力し回答をお願いする次第です。よろしくお願ひいたします。

## ちぎり絵歳時記⑤（豆の花）

作画・中村光江

初夏の季節にはさまざまな豆類が店頭に並ぶ。まずは豆ご飯の材料としてグリーンピース。グリーンピースという種はもろんない、青エンドウの未熟な種子がこれ。ピースはp e a c eにあらずp e a s。s w e e t p e aは豆にはあらず花のスワイートピー。ついでそら豆、収穫時になると一気に空に向って伸びることから「空豆」と呼ばれたとか。さやに2~4粒の豆をつけるが、けつこうな値がつく。大きなさやを取り去るとほんの一握りとなり、高値をさらに実感する。八百屋の店頭で安く売られているものには、豆の付きが未成熟なものも多い。「安物買いの銭失はい」とつぶやきながらさやを外すことになる。ビル党にはまだ豆が欠かせない。初期の頃は台湾産が安く出まわるが、いからずがお勧め。山形のただちや豆が美味しいといふには時間を使う。その点で朝採りの産直物の「湯あがり娘」が味は今ひとつ。当地（千葉県）では「湯あがり娘」といふうに、味も価格も軍配があがる。旬が待たれる。（谷村）



半袖にそよかぜ清し豆の花 (直人)

## 賛助会員一覧(順不同)

<b>関東国際高等学校</b> 東京都渋谷区本町3-2-2	村山サンドラー先生 TEL03-3376-2244
<b>江戸川学園取手中学高等学校</b> 茨城県取手市西1-37-1	竹澤 賢司先生 TEL0297-74-8771
<b>東洋高等学校</b> 東京都千代田区三崎町1-4-16	石井 和彦先生 TEL03-3291-3824
<b>桜丘中学高等学校</b> 東京都北区滝野川1-51-12	品田 健先生 TEL03-3910-6161
<b>聖徳大学附属女子中学高等学校</b> 千葉県松戸市秋山600	川並 芳純先生 TEL047-392-8111
<b>麹町学園女子中高等学校</b> 東京都千代田区麹町3-8	大野 博人先生 TEL03-3263-3014
<b>春日部共栄中学高等学校</b> 埼玉県春日部市上大増新田213	宇野 稔弘先生 TEL048-737-7611
<b>東京立正中学高等学校</b> 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	藤井 教戒先生 TEL03-3312-1111
<b>八雲学園中学高等学校</b> 東京都目黒区八雲 2-14-1	横山 孝治先生 TEL03-3717-1196
<b>関東第一高等学校</b> 東京都江戸川区松島2-10-11	副田 康孝先生 TEL03-3653-1541
<b>武蔵野中学高等学校</b> 東京都北区西ヶ原4-56-20	筒井 敏夫夫先生 TEL03-3910-0151
<b>和洋国府台女子中学高等学校</b> 千葉県市川市国分2-3-1	和田 伸平先生 TEL047-371-1120
<b>新渡戸文化中学高等学校</b> 東京都中野区本町6-38-1	藤井三恵子先生 TEL03-3381-0196
<b>東洋大学付属京北学園</b> 東京都北区赤羽台1-7-12	杉原 米和先生 TEL03-5948-9113
<b>大森学園高等学校</b> 東京都大田区大森西3-2-12	矢部 一紀先生 TEL03-3762-7336
<b>東京成徳大学中学高等学校</b> 東京都北区豊島8-26-9	野中 修也先生 TEL03-3911-2786
<b>日本工業大学駒場中学高等学校</b> 東京都目黒区駒場1-35-32	河村 文夫先生 TEL03-3467-2130
<b>青稜中学高等学校</b> 東京都品川区二葉1-6-6	伊東 充先生 TEL03-3782-1502
<b>東京女子学園</b> 東京都港区芝4-1-30	実吉 幹夫先生 TEL03-3451-6523
<b>駒込中学高等学校</b> 東京都文京区千駄木5-6-25	河合 孝允先生 TEL03-3828-4141
<b>愛国中学高等学校</b> 東京都江戸川区西小岩5-7-1	高橋 英夫先生 TEL03-3658-4111
<b>安田学園中学高等学校</b> 東京都墨田区横綱2-2-25	金子 直久先生 TEL03-3624-2666

## 日本音楽高等学校

東京都品川区豊町2-16-12

伊庭 崇 先生

TEL03-3786-1711

## 立正大学付属立正中高等学校

東京都大田区西馬込1-5-1

今田 正利先生

TEL03-6303-7683

## 上野学園中学高等学校

東京都台東区東上野4-24-12

高橋公美子先生

TEL03-3842-1021

## 二松学舎大学付属高等学校

東京都千代田区九段南2-1-32

館野 宏 先生

TEL03-3261-9288

## 村田女子中学高等学校

東京都文京区本駒込2-29-1

二渡 道雄先生

TEL03-5940-4187

## 自由学園（中等部・高等部）

東京都東久留米市学園町1-8-15

更科 幸一先生

TEL042-422-3111

## 帝京中学高等学校

東京都板橋区稻荷台27-1

上瀧 栄治先生

TEL03-3963-7734

## 京華学園

東京都文京区白山5-6-6

今野 巍 先生

TEL03-3941-6493

## 千代田女学園

東京都千代田区四番町11

長尾 和雄先生

TEL03-3263-6551

## 日出中学高等学校

東京都目黒区目黒1-6-15

東 隆道先生

TEL03-3492-3388

## 共栄学園中学高等学校

東京都葛飾区お花茶屋2-6-1

松宮 博 先生

TEL03-3601-7136

## 中村中学校・高等学校

東京都江東区清澄2-3-15

富田 義道先生

TEL03-3642-8041

## 東京女子学院中学高等学校

東京都練馬区関町北4-16-11

宗内 信二先生

TEL03-5903-9559

## ㈱創開コミュニケーション

千葉県柏市柏2-7-22-202

小林 和光様

TEL04-7164-6511

## ㈱私塾界

豊島区東池袋1-39-1三善ビル

山田未知之様

TEL03-3987-0838

## ㈱S R J

港区芝公園2-4-1柴パークB館102

板橋 玲 様

TEL03-5425-6534

## デザインオフィスズキ

千葉県柏市柏687-6

鈴木 学 様

TEL04-7164-8276

## ㈱IT' ュケーションネットワーク

千代田区富士見町2-11-11 峰ビル3F

斉藤 高志様

TEL03-5275-2101

## 小池教育研究所

愛媛県今治市大西町別府2380-1

小池 仁 様

TEL090-1451-9757

## ㈱POPER

東京都渋谷区桜丘町3-16

栗原 慎吾様

TEL03-6892-1374

## L T S 株式会社

千葉県柏市花野井1925-31

堺 健司 様

TEL090-2400-9515

## ㈱トーエイ 柏営業所

千葉県柏市若柴297-12

柿内 智之様

TEL04-7190-5890

## ㈱塾と教育社

千葉県柏市飯田橋4-4-8-310

加藤麻由美様

TEL03-6265-6855

## 株式会社 ブックモールジャパン

埼玉県戸田市上戸田4-2-33

攬上 聰 様

TEL048-447-7457